



ブリティッシュコロンビア大学 海外留学レポート（2017年11月）

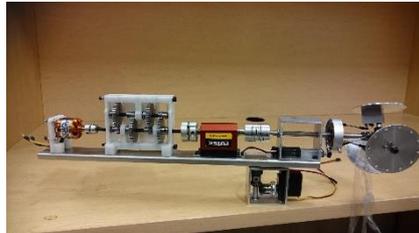


工学研究科 電気電子・機械工学専攻 機械工学コース 知能ロボティクス研究室 M17-422 土井晃

海外留学支援制度により、2017年7月28日から2017年11月28日まで、カナダ・バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学（The University of British Columbia, 以下UBC）機械工学科（Department of Mechanical Engineering）制御工学研究室（Control Engineering Lab, 以下CEL）で研究活動をしている土井晃です。研究状況とバンクーバーでの生活について紹介します。

研究活動

11月は、風車のナセル部分のアセンブリおよび動作確認、さらに渡航中の成果報告会を研究室のメンバー全員の前で行いました。発電機部分は別の学生が製作しましたが、日ごろからよくディスカッションを行っていたので、組み立てもスムーズに行えました。組み立て後、手動でロータを回してみたり、マイコンを用いてサーボモータを動かしたりして設計どおりに動作するかどうか確認を行いました。渡航最後に、CELでの活動成果や4ヶ月間どのように過ごしたかをプレゼンしました。英語での発表および、質疑応答は緊張しましたが、四苦八苦しながらも受け答えができたので、貴重な経験となりました。



製作した風車のナセル



成果報告会の様子

研究室の様子

成果報告会のあと、インド料理店でパーティを催していただきました。このパーティでは11月末から研究室に入る学生の歓迎会、博士課程学生の試験合格、そして私のお別れをかねて開催されました。CEL自作の卒業証書や、送別品をいただきました。食事中、突然暗くなり音楽が流れ、サプライズでインド料理のドーサが運ばれてきました。運ばれてきたドーサにはケチャップで「SAYONARA」と書かれていました。4ヶ月間という短い滞在期間にもかかわらず、盛大に祝っていただき感動しました。CELの皆様には大変お世話になりましたので、ここに感謝の意を述べたいと思います。誠にありがとうございました。



パーティの様子



CEL自作の卒業証書

バンクーバー周辺の観光

11月にはいると、バンクーバーではときどき雪が降り、渡航当初に登った山の山頂付近には雪が積もり、スキー場としてオープンしていたので、研究室のメンバーを何人か誘って滑りに行ってみました。何度か転倒しましたが、研究室のメンバーにコツを教えてもらい共に滑れるようになりました。

ブリティッシュコロンビアの州都であるビクトリアに観光に行きました。UBCからビクトリアまでは距離があり、鉄道、バス、フェリーを使っても、片道3時間半ほどかかりました。博物館や街並みなど、見所がたくさんありましたが、州議事堂は現在も州議会が開かれているのにも関わらず、夜になるとライトアップされ、観光名所とされており驚きました。



スキー



昼の州議事堂（ビクトリア）



夜の州議事堂（ビクトリア）